

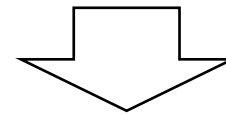
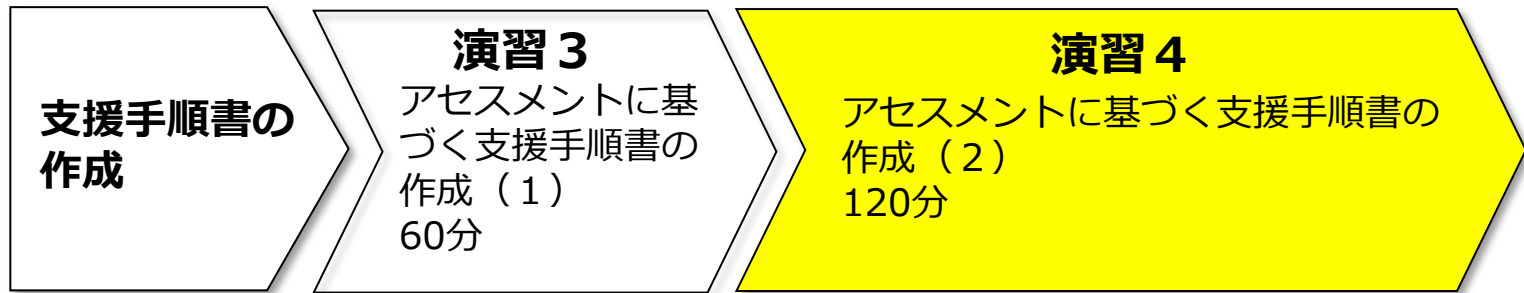
# 手順書の作成

- ・ アセスメントに基づく支援手順書の作成（2）

社会福祉法人 ふたば福社会

ふたば神島ホーム

統括管理者：榎本 恵理



## ii) 支援手順書の作成

- 本人の動きを想定する
- 支援者の動きや必要な配慮を考える

昨日の振り返り



## 個人ワーク | 活動の手順を考える

1. 工程ごとに本人の動きを想定します。
2. 支援手順書に本人の動きを記入します。

# グループワーク | 活動の手順を決める

1. 場面ごとの想定される本人の動きをグループで共有します

※支援手順書（グループ用）に記入

# ○支援者の動きや必要な配慮を考える

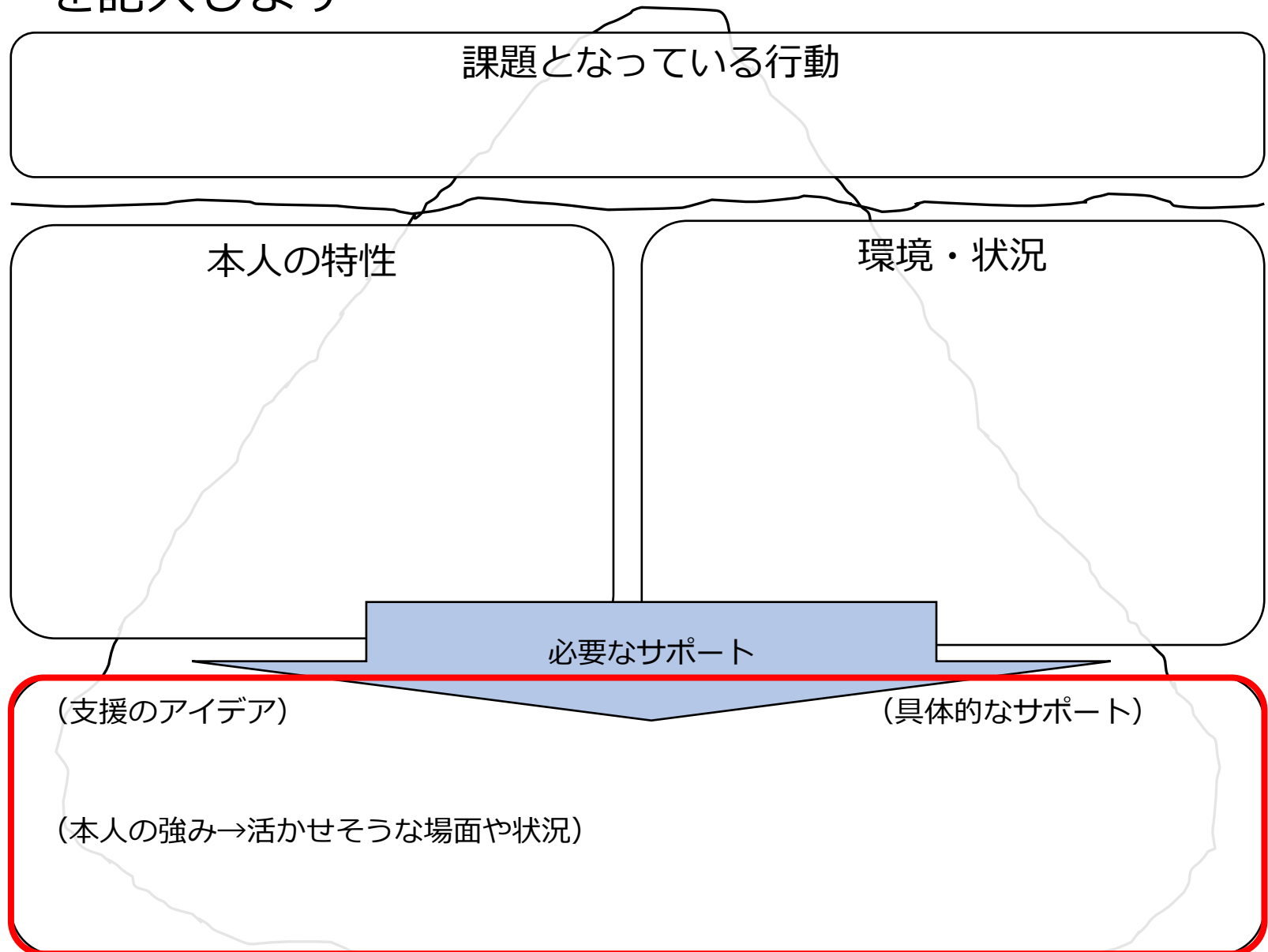
支援手順書/記録用紙

【作業場面】

日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)		
事前準備		3			
		2			
1					

1. 当日までに準備しておくことを記入する。
2. 冰山モデルの「必要なサポート」欄を根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入する。
3. 当日の事前準備を記入する。

必要なサポートを根拠に、支援者の動きや必要な配慮を記入します











# 個人ワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことを記入します
2. 支援者の動きや必要な配慮を記入します
3. 当日の事前準備を記入します

# グループワーク | 支援者の動きや必要な配慮を考える

必要なサポートを根拠に

1. 当日までに準備しておくことをグループで共有します
2. 支援者の動きや必要な配慮をグループで共有します
3. 当日の事前準備をグループで共有します  
※支援手順書（グループ用）に記入

# 発 表

1. 活用した氷山モデルの必要なサポート
2. 当日までに準備しておくこと
3. 当日の事前準備の内容
4. 活動の手順と支援者の動きや必要な配慮

# まとめの講義

1. 強度行動障害が現れている方への支援は、支援者が統一した支援をすることが重要。そのために支援手順書を作成する必要があります。
2. 支援手順書は、アセスメントを根拠に作成することが原則で、工程ごとに丁寧に組み立てます。